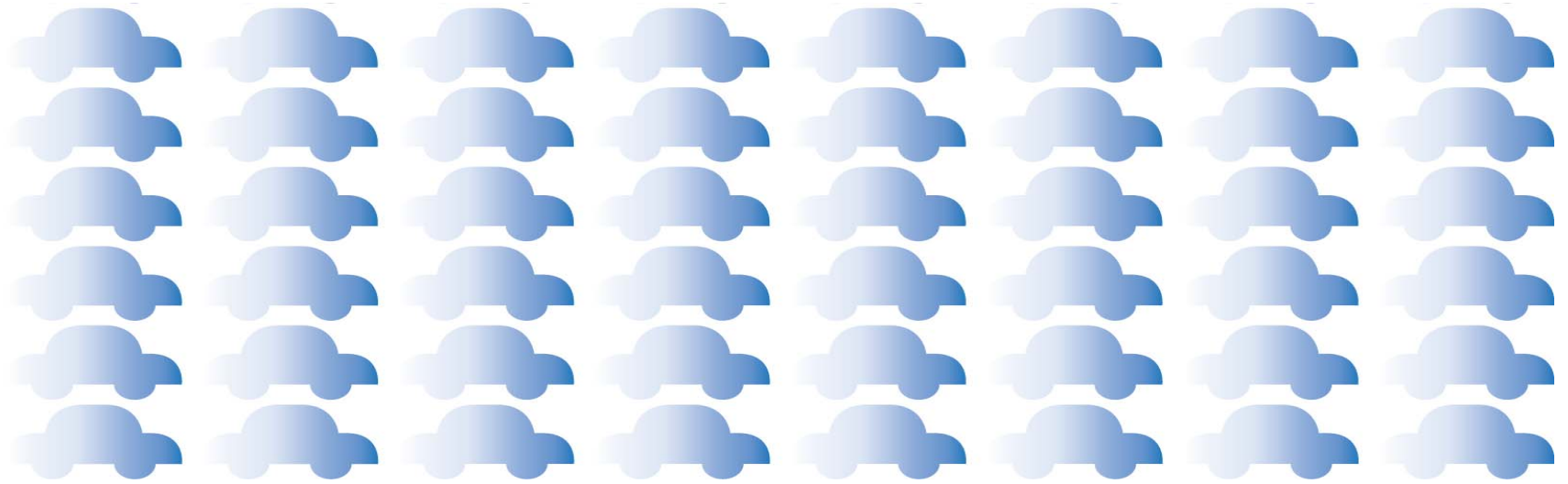




道路ができるまで



国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所

『中心ドリフト錯視』

～道路ができるまで～



●道路建設の決定(1)



●道路計画の決定(2)

- 道路がつくることが決まると、道路の規格(延長、幅員、車線数など)や道路幅が決定されます。

(例) ○○××線
○○～××
延長 □□m
幅員 24m
4車線 等



①—1 現地測量・地質調査

民地立ち入り説明会

①



- 現場周辺の住民の皆様へ、将来道路ができること、現地の状況を把握するため現地測量、地質調査などで現地に立ち入ることなどをお知らせします。

①—2. 現地測量

- 道路を造る予定地の地形を確認するために測量します。



①—2. 現地測量

①



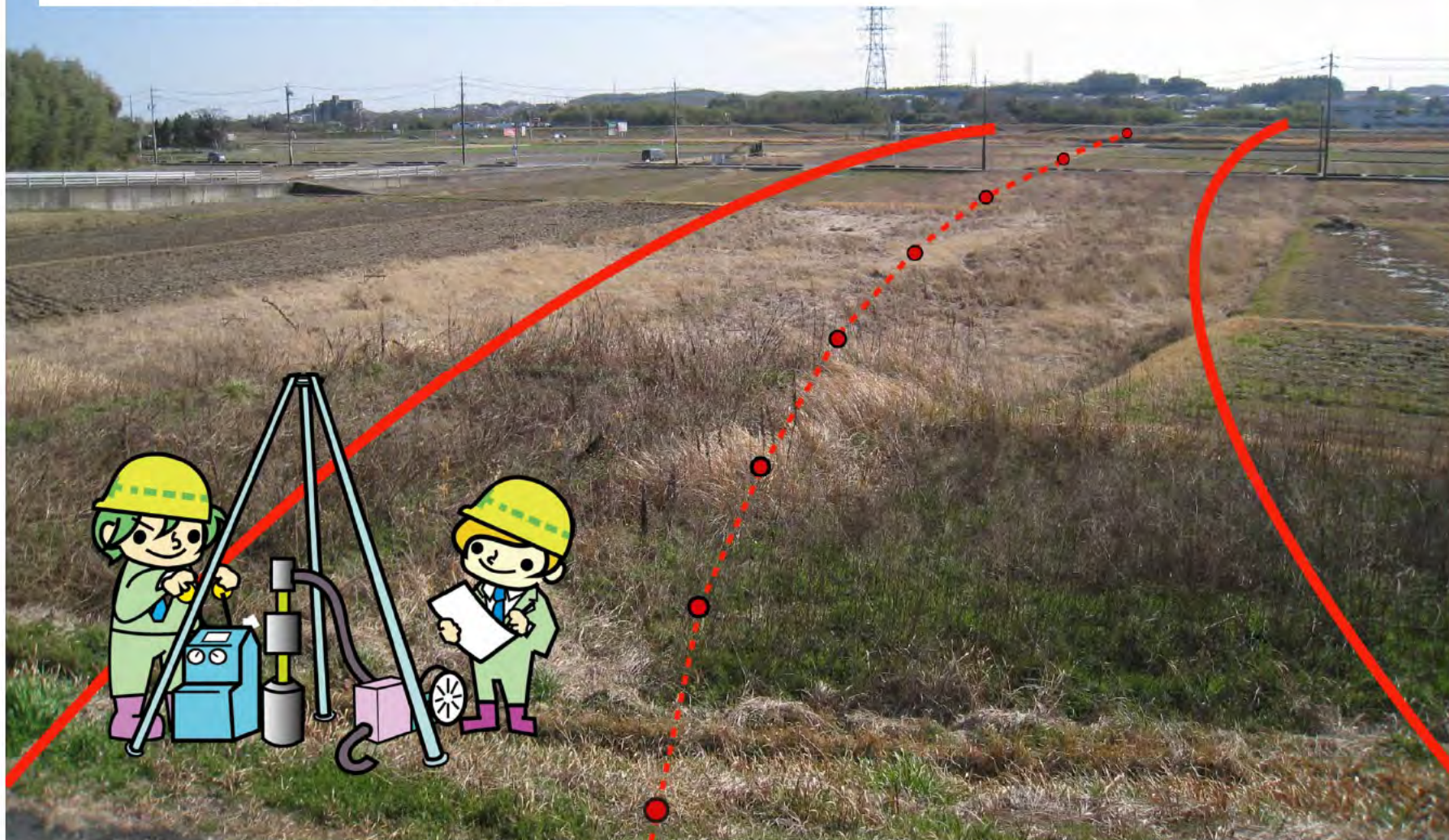
測量風景



基準点測量(GPS)

①—3. 地質調査

- 下図のように道路を造る予定地の地下の状況を調べるためにボーリング調査をします。



①—3. 地質調査

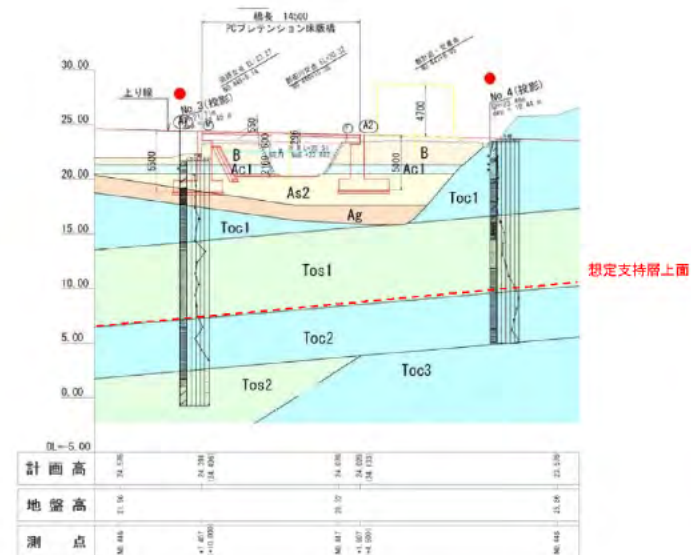
①



地質調査のボーリングコア



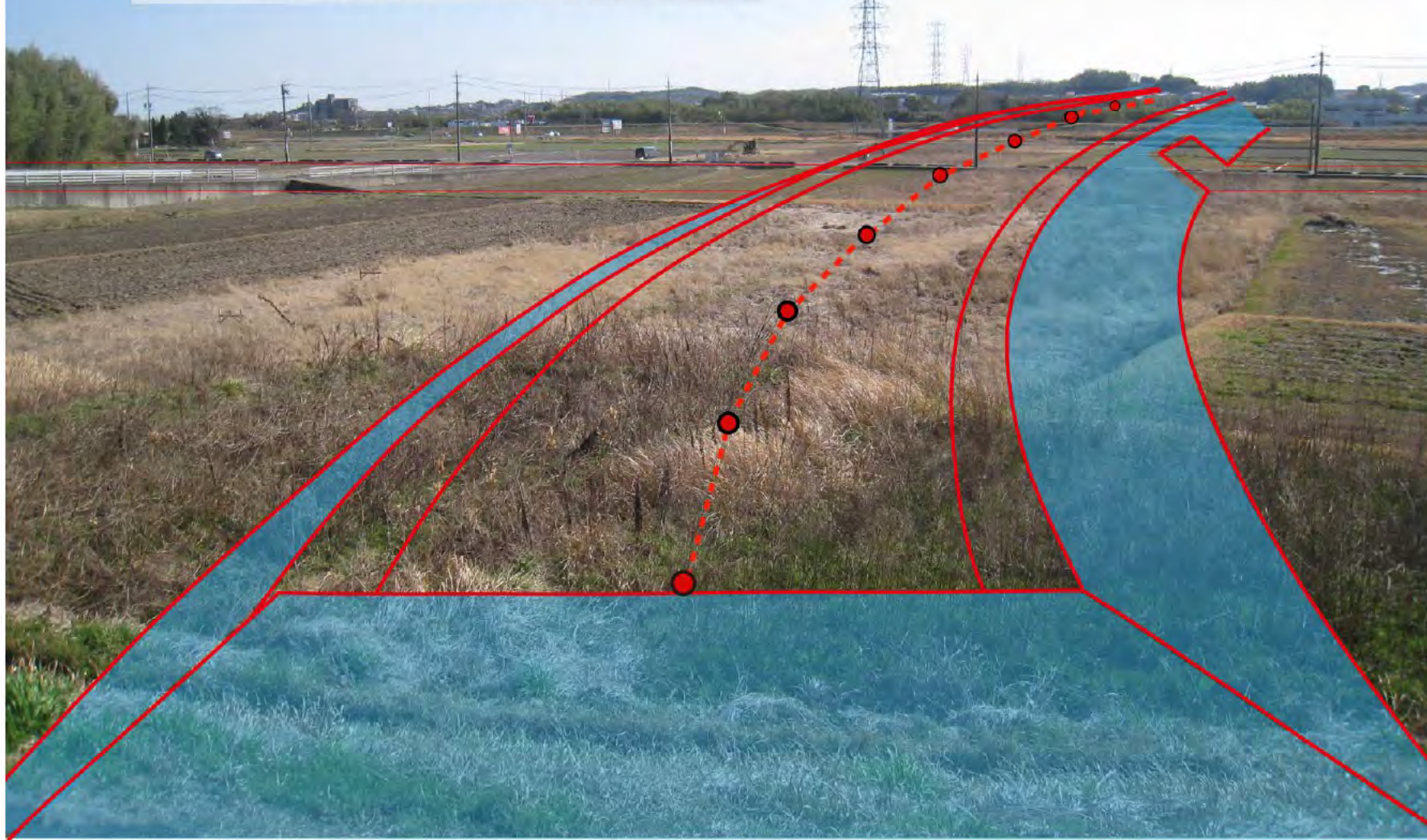
地質調査風景



ボーリングコアを基に地質図を作成します。

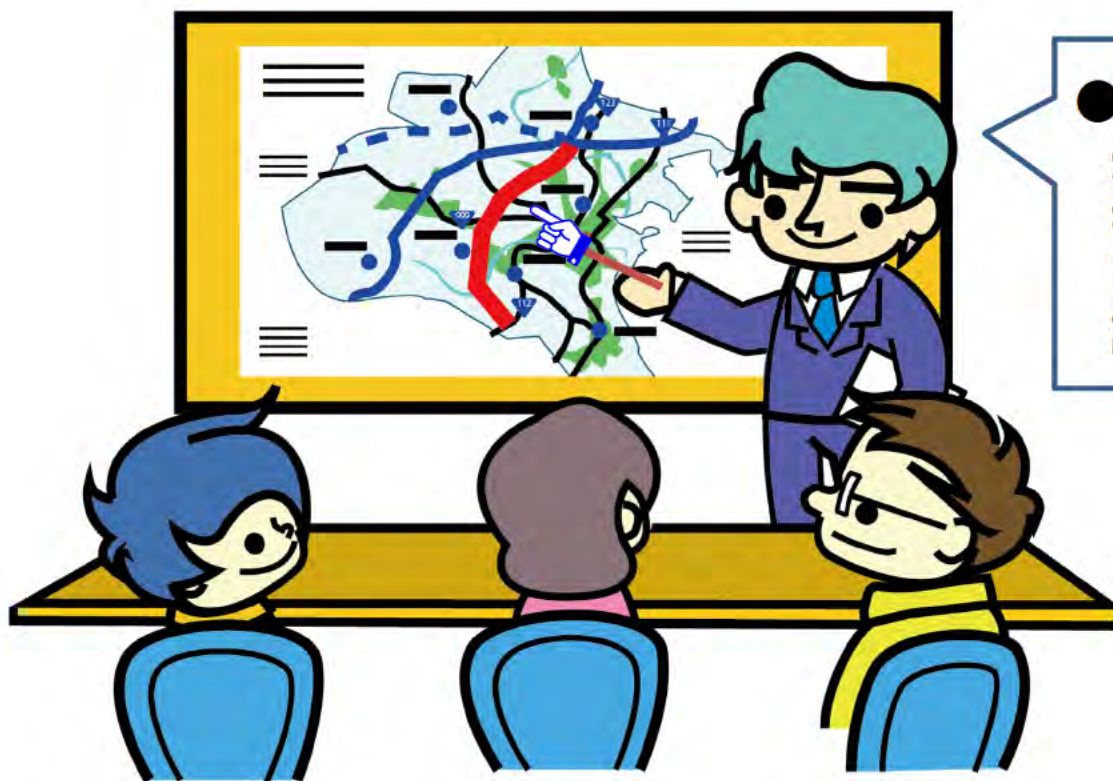
②道路の予備設計

- 現地調査を踏まえ道路の設計をして道路に必要な幅を設計します。



②

③設計説明会

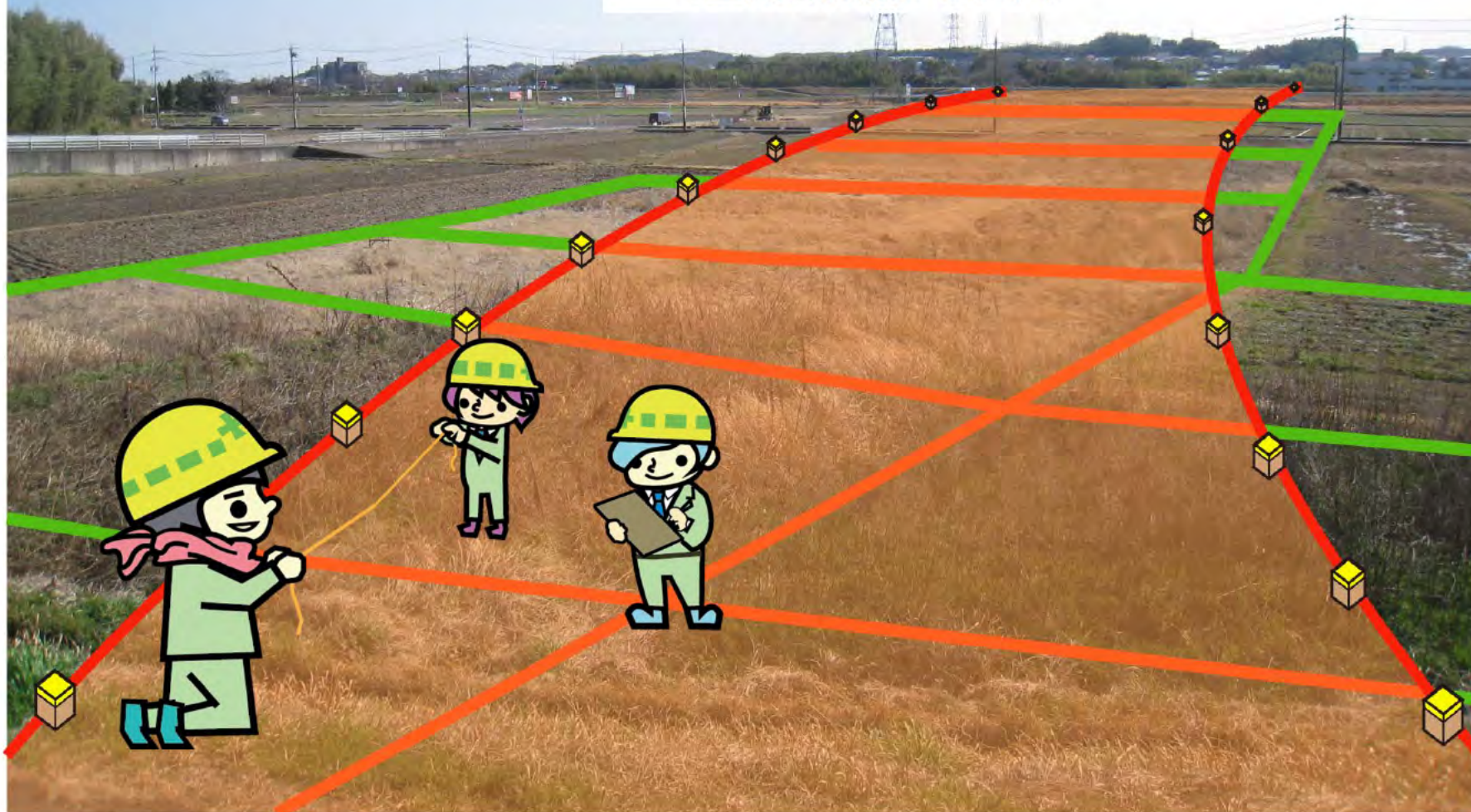


●道路に必要な幅や、地元の方の利用する側道、横断道路、水路等について地元の関係者等に説明します。

➤ 地元の方々の疑問にも答えます。

④—1 用地測量・用地調査

- 道路用地と民地境に杭を打設します。
- 用地調査では、民地所有者などに現地で立会をお願いします。



④— 2.用地取得

- 道路になる民地は、地権者と協議をし、補償がなされていきます。



④— 3 . 埋蔵文化財調査

➤ 土地に埋蔵文化財がある場合は、調査を実施します。

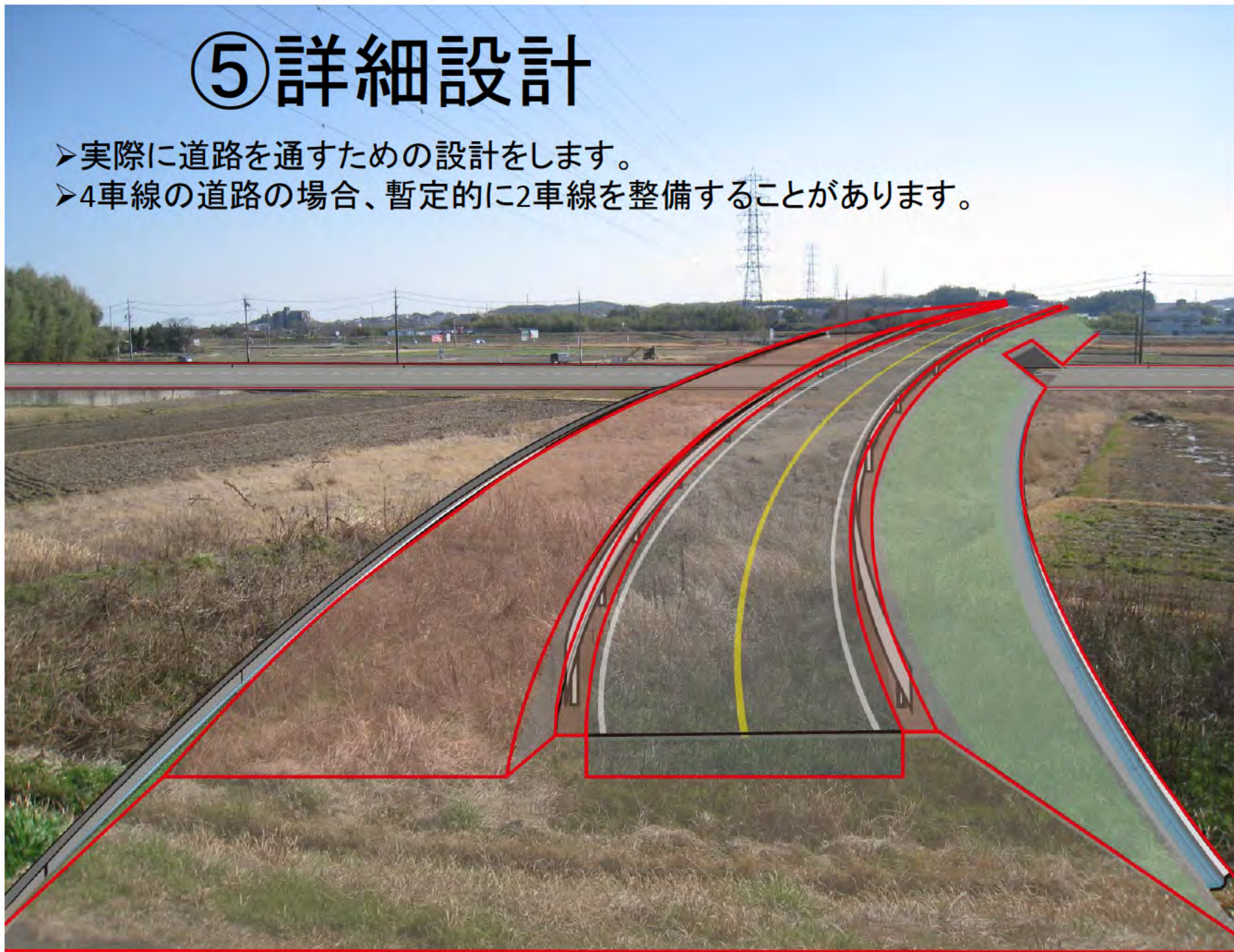


④—3. 埋蔵文化財調査

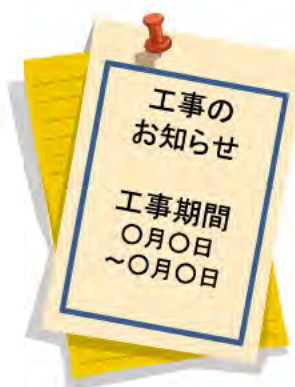


⑤ 詳細設計

- 実際に道路を通すための設計をします。
- 4車線の道路の場合、暫定的に2車線を整備することがあります。



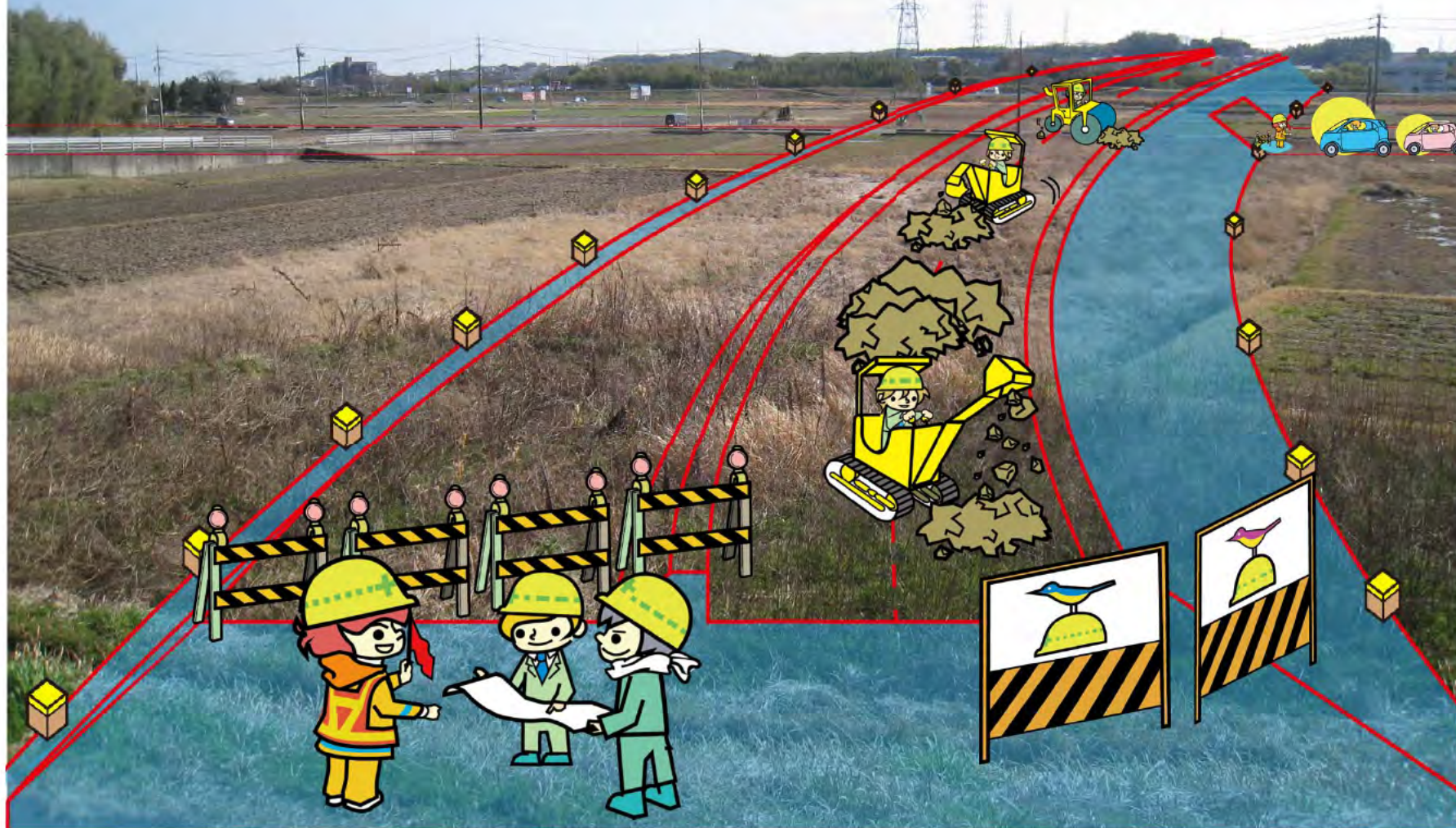
⑥工事着工説明会



- 道路工事の前に、図面や工程表を使って、地元の皆様に工事の具体的な説明をします。

⑦工事

- 設計図と工事工程表に基づいて道路を造ります。
- 工事中は地域の皆さまのご理解とご協力のもと進められます。



⑦工事

- 横断ボックス施工及び掘削作業状況



- 掘削状況



- 横断ボックス施工状況

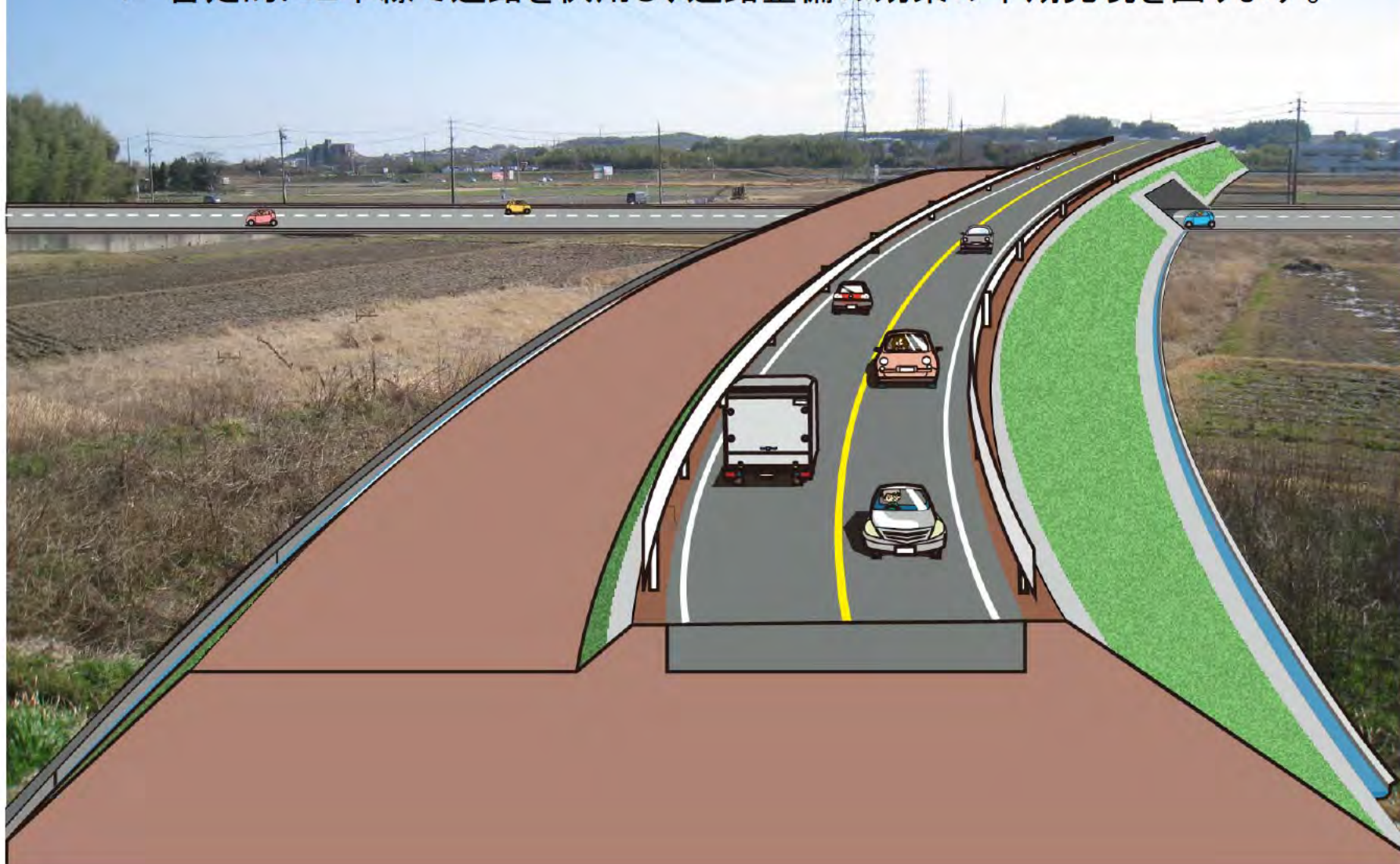


- 設計図と工事工程表に基づいて道路を造ります。
- 工事中は地域の皆さまのご理解とご協力のもと進められます。



⑧ー1. 開通（暫定2車線イメージ）

➤ 暫定的に2車線で道路を供用し、道路整備の効果の早期発現を図ります。



⑧ー2. 開通(4車線イメージ)

- 道路が完成し、車や人が通れるようになります。
- 目的地まで、時間の短縮ができます。
- 渋滞が緩和または解消されます。
- 救急車両も早く、目的地に到着できます。

